

春の全国交通安全運動

4月6日(日)～4月15日(火)
4月10日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です

《交通弱者の事故防止》

ゆずり合い 心の余裕が 事故防ぐ

《子ども・高齢者の横断に備え、「かもしれない運転」を》

- 停車中の車両の間から、小学生が横断してきた
- 左折する乗用車の陰から、高齢者が横断してきた
- バス停のバスの陰から、子ども・高齢者が横断してきた

《「死角」に隠れた、自転車等に備え、「かもしれない運転」を》

- ハンドル操作の前に、確認と減速
- 右左折時は、交差点の手前から確認
- 「歩道」を通過する時は、「歩道の手前」で、「一時停止」

わき見運転が原因か？

軽乗用車が停まっていたいた軽乗用車に追突
はずみで、部活高校生の乗ったマイクロバスに追突
3台からむ玉突き事故

最初に追突した軽乗用車の男性、死亡

- ◇ 気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ◇
- ◇ 「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇
- ◇ ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇
- ◇ 停止するときは、早めに減速し、車間1台分をあげる◇
- ◇ 玉突き事故防止◇

2025/3/23(日)

22日午前8時ごろ、愛媛県の国道で軽乗用車が、停止していた別の軽乗用車に追突、そのはずみで部活動の高校生9人が乗ったマイクロバスに追突する玉突き事故がありました。この事故で、最初に追突した軽乗用車を運転していた会社員の男性(42)が、事故からおよそ14時間後に病院で死亡しました。もう1台の軽乗用車を運転していた会社員の女性は右足に軽いケガ、マイクロバスに乗っていた高校生9人と、運転していた教師の男性にケガはありません。現場は、片側2車線の直線道路で、ブレーキ痕などはなかったということです。死亡した女性は、事故のあと「わき見をしていた」と話していて、警察が事故の詳しい状況について調べています。

午後6時 信号や横断歩道のない交差点

右から横断していた高齢女性

乗用車にはねられ、意識不明の重体

- ◇ 信号のない横断歩道、渡って来るかもしれない、「かもしれない運転」で、事故防止◇
- ◇ 夜間 右からの横断歩行者・自転車は、『発見しにくい』ので注意しましょう◇
- ◇ ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2025/3/23(日)

22日午後6時半過ぎ、薄暗くなった富山県の信号機や横断歩道はない市道交差点で、女性(87)が歩いて道路を渡っていたところ、左から来た乗用車にはねられ、病院に運ばれましたが、意識不明の重体です。乗用車を運転していた女性(27)にけがはありませんでした。警察は乗用車を運転していた女性から話を聞くなどして、事故の原因を調べています。

午後9時 見通しの良い、信号のない丁字路交差点

横断歩道を渡っていた17歳の女子高校生

軽乗用車にはねられ死亡

- ◇ 見通しが良くても…◇
- ◇ 気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ◇
- ◇ 「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇
- ◇ ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2025/3/23(日)

22日午後9時20分ごろ、栃木県の市道の信号のない見通しの良い丁字路の交差点で、横断歩道を渡っていた高校2年の女子生徒(17)が軽乗用車にはねられ、病院に搬送されましたが、およそ2時間後に死亡しました。警察は軽乗用車を運転していた女性容疑者(51)を現行犯逮捕しました。容疑者は容疑を認めているということです。容疑者は仕事に向かう途中だったということです。